

## 2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月3 : /Mon.3

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121302			
科目番号 /Course Number	10160135			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都の歴史Ⅱ : History of Kyoto II			
担当教員名 / Instructor(s)	/(藤本 仁文)/他 : /FUJIMOTO Hitofumi/etc.			
その他/Other	インターンシップ実施 科目 /Internship	国際科学技術コース提供 科目 /IGP	PBL 実施科目 /Project Based Learning	DX 活用科目 /ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による 科目 /Practical Teacher	○	代表教員は、郡山城史跡・柳沢文庫保存会で学芸員に従事した経験があり、また分担教員の一人は京都大学総合博物館で助手を務めた。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 /Objectives and Outline of the Course	
日	(授業概要) 本科目は講義である。 「都市京都の展開」 近世・近代京都の、都市としての展開をさまざまな角度から考察し、現代京都の特質を歴史的に理解する。
英	

学習の到達目標 /Learning Objectives	
日	近世・近代の京都に関する基礎的な知識を習得し、現在の京都を世界史的な視野で考察する力を養う。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 /Course Plan		
No.	項目 Topics	内容 Content
1	日 第1回	まるたけえびすの近世

	英		
2	日	第2回	歌のはじまり
	英		
3	日	第3回	丸太町通の歴史地理
	英		
4	日	第4回	縦の通りから考える京都
	英		
5	日	第5回	まとめと小テスト
	英		
6	日	第6回	近世京都及び周辺地域の歴史
	英		
7	日	第7回	近世京都の政治・経済―町奉行所・町人・祇園祭―
	英		
8	日	第8回	近世京都の宗教・文化―御所・葵祭・比叡山―
	英		
9	日	第9回	「丹後の海」と「南山城の山」
	英		
10	日	第10回	まとめと小テスト
	英		
11	日	第11回	近現代史のなかの京都①～地方制度・行政
	英		
12	日	第12回	近現代史のなかの京都②～政治
	英		
13	日	第13回	近現代史のなかの京都③～ケース・スタディ
	英		
14	日	第14回	近現代史のなかの京都④～教員の最近の研究から
	英		
15	日	第15回	まとめと小テスト
	英		

履修条件 /Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） /Required study time, Preparation and review	
日	配布された資料の解読し、またより理解を深めたい受講生のために、適宜、参考文献を紹介する。 授業で取り上げた史跡や場所に実際に行ってみることも重要である。  本講義に対しては、67.5時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 /Textbooks/Reference Books	
日	【テキスト】プリントを配布 【参考図書】上杉和央『京都はどう織りなされてきたか』（古今書院、2024）
英	

成績評価の方法及び基準 /Grading Policy	
日	小テスト3回（それぞれで合格点をとること）
英	

留意事項等 /Point to consider	
日	

英	
---	--